平成３１年度　光ケ丘中学校　経営方針全体図

学校教育目標	豊かな心を持ち、自ら学び考え、たくましく生きる生徒の育成
生活三本柱	挨拶　・　清掃　・　時間

目指す生徒像

目指す生徒像	自ら考え正しく判断できる生徒　知	心豊かで思いやりのある生徒　徳	心身ともに健康な生徒　体
目指す学校像	一人ひとりの「夢」が育ち、実現できる学力を育成する学校	互いに尊重し合い「思いやり」を育成し地域に信頼される学校	挨拶や歌声が響き、安全安心で「楽しい」学校
目指す教師像	常に研修に励み、自らの教科指導力、生徒指導力の向上に努め**チームで協働できる教師**	人間性社会性に富み、生徒、家庭及び地域に信頼される教師	生徒とともに汗を流すことのできる教師

今年度の重点

知

「分かる授業」で「楽しい学校」・・・『夢』を育て、
実現のための学力を向上させる授業の開発と実践

徳

「自他の尊重」で「思いやりのある学校」・・・ それぞれ
みんな違う価値観、こだわりを互いに認め合う心の育成

体

「元気な挨拶」で「活気ある学校」・・・地域のミドル
リーダーとしての中学生の育成

取り組み事項（■は重点項目）

知

1　授業力向上プラン

①「光中授業スタンダード」づくりを進める校内研修の充実
・本時の「課題」の提示、最後に「まとめ」で確認する。
・学習5つの約束の徹底
②授業評価の実施
・教科の授業評価をとり、PDCAサイクルを作る。

■③主体的・対話的で深い学びの視点による授業実践の充実
・学校図書館やICTを活用した授業展開の工夫を図る。
・学校図書館や指導員を活用した調べ学習を積極的に取り入れる。
■④道徳の授業公開や相互参観を行う。

2　基礎定着による「興味」「関心」の育成プラン

①光中タイムは朝読書又は学年で統一した課題を行い、落ち着いて一日をスタートさせる。

■②**教科部会を充実させ、アンケート結果を生かし**基礎学力の定着や向上を図る取り組みを行う。

③部活動停止期間を活用し、**学年体制で学習支援**を行う。

④長期休業(夏)に各教科で企画し、補習を実施する。

3　学ぶ「目標」の明確化プラン

①生徒が将来の目標が持てるよう、**発達段階に応じたキャリア教育を推進し、実践する。**
・キャリア教育の年間計画を見直し、**全ての教育活動や総合学習、旅行行事などの関連づけを図って取り組む。**

②研究・情報部中心に、3年間のキャリア教育計画を作成する。

4　情報活用を促進するための取り組み

①資料の整理、整頓を継続して、活用できるよう環境整備を行う。

徳

1　「問題は一人で抱え込まない」教育相談充実プラン

①学級、部活動等における生徒の状況把握
■・教育相談期間を各学期に1回実施する。
・**教育相談及びアンケートを充実させ、定期的に実施する。**
・様々な支援やサポートを必要とする生徒の状況を定期的に共有化する。

②生徒との信頼関係を高めるための個々の課題把握と対応
・**生活ノートや会話を通して、生徒とのかかわりを大切にし、変化を見逃さない。**
■③「特別の教科道徳」授業の充実
・**各学年の道徳担当者を中心に計画的に授業実践を積み重ね、「考え・議論する」授業を展開する。**

・**帰りの会や学級活動のなかで**「おもいやり」を感じる機会を**作り、一人一人を大切にする学級づくりを目指す。**

④支援やサポートを必要とする生徒の把握と対応
■・学級、学年で個々の課題把握に努め，職員間で共有し、**手立てを工夫して成長を支える実践を進める。**

2　「保護者・地域と共に」　～開かれた学校プラン～

①日々の連絡、**面談**や学級懇談会を通じた保護者との信頼関係の向上
■②**学校HP・学校だよりによる積極的な情報公開**
・**各学年担当者によりHP更新を充実させる。**
(タイムリーな情報を更新していく。)
■③**積極的な学校公開**
・**学校行事や教育課程を地域、保護者に積極的に公開する。**
④地域行事への積極的な参加
・部活動(吹奏楽部等)、若草学級、生徒会の参加の継続
・**地域美化活動期間の設定**、登校中の地域**「クリーン活動」の充実を図る。**
・長期休暇中、柏市地域ボランティアへの参加推奨
・**地域、保護者からの働きかけにより、共に生徒を育てる教育の推進。**
⑤学校支援地域コーディネーター活用

体

1　生活の三本柱[挨拶・時間・清掃]　向上プラン

■①挨拶の**向上**
・生徒会及び部活**動**による挨拶運動の推進
(生徒会や生活、学習**広報**委員会などの活動の一環として授業への取り組み**向上**及びキャンペーンなど)
・**部活動単位で挨拶向上を図る**
・授業時の挨拶、指名されたときの「ハイ」返事の徹底
(挨拶の基本→相手を尊重する心、相手を敬う心の指導)

■②清掃活動の充実
・**清掃計画を立てて取り組ませるなど委員会活動を通じて清掃を見直させる。**
■・密着指導による生徒への働きかけの強化

③時間のけじめ、めりはりのある生活
・生徒会、委員会活動を通して、生徒の時間への意識を向上させる。

④歌声指導の充実
・心を込めて、「お礼の表現」としての歌声
・学期ごとに歌声発表の場**(学年や全校)**を設定し、歌声活動に取り組む
・日頃からの学級ごとの歌声交歓会の推奨する。

⑤委員会活動、班活動の充実
・**学校をよりよくするために、主体的に考えて活動する委員会活動を推進する。**
・**班活動に絡む6委員会の活動内容を明確にし、学級での班活動を活発にさせる。**
・**委員会活動や学級・班での活動を通して、主体的に活動することのできるリーダーを育成する。**
・**「朝、帰りの会」のねらいをはっきりさせ、活動内容を学年で共通化していけるよう検討していく。**

⑥職員の全員体制で行う集会指導
・**集会にのぞむ、心構えの指導**
・**集会のねらいを意識した入場**
・**無言での整列入退場の徹底**

交流とふれあい　行事等

生徒会活動等のねらい

★自らの手で創りとげるより良い学校
★仲間つくりとリーダー育成
★互いを大切にした話し合い活動

＜委員会活動＞
・与えられた仕事の遂行から、自ら考えたねらいのある活動の推進
・生徒会のリーダーシップによる活動の充実
＜新入生歓迎会、三送会＞
・自主的活動の自覚
・感謝の表現、伝統継承の自覚
＜生徒総会＞
・実態の把握とねらいを持った活動方針の決議
＜全校集会＞
・全校で活動を確認する場
・生徒活動を表現する場
＜体育祭＞
・学級の団結を産む競技、応援活動への転換
・思いやりのある活動、協力する姿勢の確立
＜文化祭＞
・生徒会、実行委員のねらいをもった責任ある活動と役割分担
・合唱をとおした学級団結の表現の場としての合唱祭コンクール
・思いやりのある活動、協力する姿勢の確立
・文化活動表現の場としての学習成果発表
＜部活動＞
・自主的に活動できる集団の育成

校外行事のねらい

★仲間つくりと交流・ふれあい
＜校外学習(1年)＞
・委員会、班などの準備活動の方法を覚え、班で協力して活動できる。
・共同の活動の喜びを知る。
○グループ活動の定着

＜林間学校(2年)＞
・すばらしい自然に触れる。
・自主的な準備活動により、学級や学年の団結を図る。
○学級・学年の自治活動への発展

＜修学旅行(3年)＞
・伝統や文化に触れ、日本の良さを研究する機会とする。
・現地の人々とのふれあいや交流のある体験学習を行う。
○自主的・自立的な活動へのステップアップ

学校行事のねらい

★感謝の気持ちを込めた歌声
＜入学式＞
・響く歌声と温かい雰囲気
・中学生としての自覚、先輩としての自覚

＜卒業式＞
・光中卒業生としての誇りと周囲への感謝
・祝福と感謝の気持ち、伝統の継承とよりよい校風の創出

平成 30 年度　学校評価アンケートの結果（保護者）

知

＜肯定的評価が高かった項目＞
いろいろな面から学習の評価がされている。82%□⇩
丁寧でわかりやすい授業が展開されている・77%□⇩
工夫のある授業を展開している。・・・・・・・・72%□⇧
＜肯定的評価が低かった項目＞
授業での学習内容をほぼ理解している。・・57%□⇩
進んで授業や家庭学習に取り組んでいる。・・・・58%□⇩
将来の目標を持つことができている。・・・・・45%▼⇩

徳

＜肯定的評価が高かった項目＞
授業・行事を積極的に公開している。・・93%□⇧
時間やルールを守る。・・・・・・・・・・・・・・91%□⇧
様々な情報を伝えている・・・・・・・・・・・・90%□⇧
保護者や生徒の相談に適切に対応している・82%□⇧
他人を尊重し、思いやりのある言動をしている。75%□⇩
＜肯定的評価が低かった項目＞
積極的に挨拶している。・・・・68%□⇧
地域行事へ参加している。・・46%□⇨

体

＜肯定的評価が高かった項目＞
学校行事に意欲的に取り組んでいる。・・・・95%□⇩
歌声活動に意欲的に取り組んでいる。・・・・94%□⇩
掃除や諸活動に前向きに取り組んでいる。(生徒)・・・・90%□⇨
部活動に積極的に取り組んでいる。・・・・・・89%□⇧
＜肯定的評価が低かった項目＞
登下校で挨拶している。・・68%□⇧

評価の変化について・・・・・△＝５%以上向上　▲＝１０%以上向上　□＝ほぼ同じ　▽＝５%以上下がる　▼＝１０%以上下がる